

鹿児島市山下町11番1号
 担当課：鹿児島市保健所保健予防課
 〒892-8677
 Tel.099-803-6929 FAX099-803-7026
<http://www.city.kagoshima.lg.jp/>
 Eメール：hoyobo-tai@city.kagoshima.lg.jp

鹿児島県鹿児島市

本市のデータ

- (1) 面積 **547.55km²** (2015年 国勢調査)
 (2) 人口 (人)

1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2018.10.1
546,282	552,098	604,367	605,846	605,064	601,738
65歳以上人口比率(%)					26.3%

- (3) 世帯数

1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2018.10.1
215,140	228,638	254,694	264,093	289,528	293,896

- (4) 沿革

1889年	市制施行
1996年	中核市へ移行
2004年	合併(吉田町・郡山町・桜島町・松元町・喜入町)

- (5) 産業構造

2010年	1次	2次	3次	その他	計
就業人口(人)	3,648	39,996	216,355	9,761	269,760
割合(%)	1.4	14.0	76.8	7.9	100



出典：国勢調査(総務省統計局)

本市の概要

鹿児島市は、日本の九州の南端鹿児島県本土のほぼ中央部にあり、波静かな錦江湾、悠然とそびえる活火山桜島に代表される世界に誇れる雄大な自然景観と、近代日本の黎明に幾多の英傑を輩出した個性ある歴史・文化など多彩な魅力にあふれる国際観光都市です。

鹿児島市のシンボルである活火山桜島(標高1,117m)は、市街地から錦江湾をへだてて約4kmの対岸にあり、年間400回以上噴火し、夏場は降灰に見舞われることもあります。火山の恵みの温泉も豊富で、大自然の魅力を体感できる場として「日本ジオパーク」に認定されています。

1889年に市制を施行し、1996年には中核市へ移行、2004年に隣接する5町との合併を経て、政治、経済、教育、文化等の高次な都市機能が集積した南九州の交流拠点都市として発展を続けています。



支援に向けての取り組み状況

<対策の方針・目標>

多くの自殺は、個人の意思や選択の結果ではなく、さまざまな悩みで自殺以外の選択肢が考えられなくなる「追い込まれての死」であると考えられています。

鹿児島市では、2010年6月から「自殺対策ネットワーク会議」を開催、2013年4月からは「自殺予防対策委員会」として、セーフコミュニティの重点分野の一つとして鹿児島市の現状を基に、地域住民・関係団体・庁内の関係部署と連携・協力のもと、各種施策を積極的に進めてきました。

2016年の改正自殺対策基本法により、すべての自治体に自殺対策計画の策定が義務付けられたことを機に、2018年3月、「鹿児島市自殺対策計画～誰も自殺に追い込まれることのないいのちを支える鹿児島市を目指して～」を策定しました。本計画では、2025年までに、自殺死亡率を2015年の13.9から30%減少させる9.7とすることを目標としています。

<具体的な取組み>

1. 総合的な取組の推進及び関係機関との連携

- ・鹿児島市自殺対策庁内連絡会議の開催（2009.7～2013.3）
→鹿児島市自殺対策庁内連絡会議（セーフコミュニティ作業部会）へ移行（2013.4～）
（構成：庁内29部署）
- ・自殺対策ネットワーク会議の開催（2010.6～2013.3）
→セーフコミュニティ自殺予防対策委員会へ移行（2013.4～）（構成：関係団体17団体、庁内9部署）
- ・鹿児島市自殺対策推進本部会議の開催（2017～）（副市長をトップとし、8局長で構成）

2. 自殺予防の普及啓発

		2013	2014	2015	2016	2017	2018
広報回数		7回	14回	18回	19回	21回	20回
チラシ配布枚数		26,314枚	18,922枚	12,404枚	9,592枚	10,840枚	16,295枚
メンタルヘルス講演会	市民向け	77回 2,713人	91回 2,395人	100回 2,724人	81回 2,197人	82回 2,518人	114回 2,828人
	労働者向け	—	7回	5回	12回	19回	26回
	その他	—	—	—	—	—	—

- ・鹿児島市自殺対策計画に基づき、大学学園祭にてパネル展示及び啓発資料を配布（2018～）

3. ゲートキーパー養成講座

	2013	2014	2015	2016	2017	2018
回数	7回	7回	13回	8回	18回	13回
参加人数	336人	310人	1,422人	237人	2,711人	332人

- ・ゲートキーパー養成講座（初級編）（2008年～）
- ・ゲートキーパースキルアップ研修
（2013～対象：初級編を受講した市民、2018～対象：市民、市職員、職能団体へ拡充）

4. 相談しやすい場の設定

	2014	2015	2016	2017	2018
相談窓口開設数	17機関	17機関	16機関	16機関	17機関
相談者数 (50～60歳)（再相談）	31,203人 (2,578人)	33,543人 (2,459人)	37,389人 (2,744人)	41,506人 (3,871人)	42,999人 (1,799人)

- ・50～69歳が相談しやすい場所と時間の検討
→自殺予防週間に合わせ、自殺予防対策委員会による生活とこころの相談会＆ミニレクチャーを実施
（2016～、平日5日間18:00～21:00、駅に近いショッピングセンター内会議室にて実施）

5. 相談窓口の周知

		2013	2014	2015	2016	2017	2018
相談窓口案内カード	配布枚数	10,160枚	13,650枚	33,702枚	36,365枚	27,499枚	39,205枚
	設置か所数	91か所	128か所	988か所	1,087か所	1,099か所	1,150か所
広報回数		3回	9回	9回	10回	10回	11回

- ・悩みの種別ごとに相談窓口を掲載。官公庁だけでなく、市内の医療機関や調剤薬局、自殺のリスクにつながる競輪、競馬、競艇場外券売り場、パチンコ店等に無料相談窓口カードを設置。
- ・手に取ってもらいやすいよう、カードスタンドの作成及び配布（2019～）

6. 自殺未遂者への支援

- ・県自殺未遂者支援連携体制構築事業に基づき、鹿児島市立病院に搬送された未遂者で、本人もしくは家族の同意が取れたものに対し、支援を行う。